

# い便り山ぼりぼん

毎月第1土曜日、第3日曜日 10:00～活動中であ

第3号

平成20年2月17日(日)  
第20回

今日はホームページを見て参加を申し込まれた3名の方が見える。ぼんぼりの会の黄色い旗を持って出迎えねば。また、3年間の海外勤務を終え帰国した元北相模の仲間もやって来ることに。なっておりにぎやかになりそうだ。

## 【ボサ班】

午前中は初参加の人たちも加わって右側の中段から上に向けて刈り上げていく。この辺りはアラカシなどの常緑樹が大半を占めている感じ。



また、倒木、スギ?ヒノキ?の枯れ木の多さが目立つ。地表も表土が流されてしまいいくつかの箇所もある。つい倒木が気になっている箇所もある。つい倒木が気になっポサ刈を放り出して倒木の片付けに取掛かる。玉切にし株と株の間に寝かせて土留めを作る。午後からはチェンソーも入れて倒木の片づけを促進、倒木がなくなるきりし、いかにも仕事をしなという感じになつて気持ちがいい。



## 【除伐班】

1 本目の除伐。直径およそ30センチの木(檜?)である。手強いことに、斜下方向へ傾いている。「基本に忠実にいきましよう」というのが本日の作業方針。作業を始めると、狙いと違う方向へますます傾く。急いでロープを絞めるがチェンソーが「はまって」動かなくなってしまった。チェンソーも取れてホット一息、ではない。チェンソーの板が曲がってしまったのだ。こんなことは、初めてである。

・この後は、のこぎりでの手作業となった。背が高く細い木が密集しているため、かかり木で作業が難しい。何度もロープを掛けて引張る。2、3本切り倒すと、森



光が入り、森が改善されていくのが実感できる。すぐ側で、青いルリビタキ2羽が、日光浴をしながら我々の作業を見守ってくれていた。・追記;上記チームの報告の他、手鋸チームが頑張つて16本、他のチェンソーチームも29本を除伐、今日の除伐の成果はトータル60本となった。

## 【椎茸ホダ木置き場の作成】

伐材を打ち込んだ柱に渡した横木と物置小屋の屋根との間に半割りした竹で屋根を葺いて直射日光を防いで半日陰を作ろうというという寸法か。

ここには物置の背面側の柱に横木を渡して梯子やスコップなどもつるして整理できるように考えているようだ。次回、あるいは次次回回りには椎茸菌を打ち込むようになるのかな?



## 【終わりのミーティングから】

先月に行なった中地区の柚子の木の剪定の際、所有者が一緒に柚子もぎを手伝っていた仲間に「家の山も綺麗にして欲しいな」との希望を伝えていた件について検討、その結果、地元の要望については早めにその要望に応えた方がよいとの結論に達した。

次回に所有者の話や現場の話を聞くとともに、現場の下見を行い作業量、境界の確認等を行なうことになった。



# い便り山ぼりぼん

<http://members2.jcom.home.ne.jp/bonbori/>

第3号

平成20年3月1日(土)  
第21回

今日は、雛祭りのイヴイヴ。白酒と雛あられを飾って季節感を。ぼんぼり地区の作業だけあって、雛祭りのぼんぼり飾りを意識しちゃったりして。白酒は、もちろんお子様用ノンアルコール・・・作業に支障が出ちゃうからね。

## 【中井地区の山の視察から】

前回からの予定で、午前中は中地区にある依頼のあった所有者の山の下見に行った。集

合場所からは、集落の畑や斜面の合間にある細い小道を西方に抜けて行く。空気こそはまだ冷たいが、お日様が良く当たり、なんとなく春の匂いを感じさせる。



の匂いを感じさせる。

袖畑を抜けて登場した山はまさに手の入っていない荒れた暗い森。もうそれは、見ただけで、早くここもやりたい”と武者震いがするほど!

ここも昔は畑だったが、10数年前、ヒノキを植えたそう。それで、そのヒノキのほとんどが男の人の手が片手でつかめる程の太さしかない。男性陣がさらに山の上部へ入っていくのが見えたが、木が生い茂ってすぐに姿が見えなくなってしまうほど荒れていた。

今日は下見で来たはずだったが、そうこうしているうちに、男性陣も作業闘志が沸いたようだ。どこからともなく作業している”わさわさ”、という音が聞こえてくる! 「下見を終えて降りてくると、今度は先月昼食に使わせてもらったビニールハウスの持ち主さん。この間の強風で飛んでしまったビニールハウスの修繕作業のお手伝いをした。

【基地エリア】  
午前中の基地エリアは、中地区の作業に向かうメンバーを見送った後、少人数ながら柚子の枯れ枝の処分。



## 【基地エリア】

「昨年の夏は、良くやったよねえあの暑い中。」そんな会話をしつつ「今年の「今年の夏は、止めておっか...キツイだろうね。」と。風が無く、晴れた日は、もう火の側は、熱いんだ。それでも、少しずつ少しずつ、枯れ枝は減ってる。地道な作業ながら、この作業力が無きや。



午後からの基地エリアには、賑やかな声が響く。椎茸のコマ打ちをしたり、小屋周辺では、樋作り。あーだのこーだの、試行錯誤の末、上手く流れるよう勾配をつけ、防火用水槽へ。始まる時はね、ほんとは出来上がるの?って半信半疑だけど、出来ちゃんだなあこれが!

【炊事班】  
さて、そろそろお味噌汁ものにも飽きてきた???で、具材は、ほとんど変わらないけど、洋風に仕上げてみようかと「ポトフもどき」。人参・大根をね、桜や梅の花の型抜きをしてみました。桃の節句で、春近し...ですからね。そんな準備をしていると、中地区エリアの山歩き・作業をしているメンバーから連絡が入る。「地元の方がお昼の準備をしてくれているよ」と。嬉しく思う。



※ポトフもどきは、帰りの飲み会に参加したメンバーに、どんぶり一杯食べさせて、完食だ。

【終わりのミーティングから】  
次回、3月16日(日)は中井地区の森の整備、ヒノキの枝打ち、ボサ刈を全員で行なう。